

## ASPIRE 2024 年度 日英共同公募「エンジニアリングバイオロジー」募集説明会

(2024 年 1 月 24 日 14 : 00 ~ 15 : 15 開催)

### Q&A 集

※説明会当日、視聴者の皆様にごいただいた質問と回答については意図を変えない範囲で一部修正させていただいております。

※今後、本公募に関するお問合せは [aspire-uk@jst.go.jp](mailto:aspire-uk@jst.go.jp) 宛てにお送りください。

#### 研究分野についてのご質問

Q1 歓迎される研究テーマとしていくつか紹介いただきましたが、複数の該当する個別の研究テーマを束ねバイオエンジニアリング人材育成を目指すような提案は受け入れられるでしょうか？

A1 エンジニアリングバイオロジーの中で相互関係がある提案が求められます。エンジニアリングバイオロジーの範疇で異なる研究テーマをまとめる場合においても、ネットワークの視点からプロジェクト内の横連携は重視されるため、そのことがわかるような提案を作成してください。

Q2 スコープにある I. Discovery-inspired projects と II. Cross-cutting research & technologies の両方が提案中に満たされている必要があるでしょうか、或いはどちらか一方で良いでしょうか？

A2 いずれかのトピックを含むことで結構です。詳細については公募要領に記載していますので、必ずご確認ください。

#### 応募要件等についてのご質問

Q3 応募の条件として、公募説明会に参加することは必須ですか？

A3 必須ではありません。

Q4 主たるパートナーは英国としつつ、それ以外の国の研究者も連携研究者として入れることは可能でしょうか？それとも日英限定でしょうか？

A4 ASPIRE における本公募の枠組みにおいては、基本的に日英メンバーに限定した形で共同研究体制を作っていただくことを想定しています。ASPIRE の枠組み以外で連携していただくことは可能です。

- Q5 既に ongoing の研究予算を取得していることが前提となっていますが、その中に企業との共同研究予算も含まれますか？（研究内容がエンジニアリングバイオロジーに関連している共同研究）
- A5 含まれます。研究を実施することができる資金であれば、企業との共同研究費や既に獲得した競争的研究資金等、種別は問いません。

### **公募についてのご質問**

- Q6 Outgoing researcher について、「学位取得後 15 年まで」とのことですが、育休期間は学位取得後の期間に含まれないよう配慮されますか？
- A6 配慮します。
- Q7 採択件数 5 件程度とありますが、前回のように、結果として採択件数が 0 件ということもあり得ますか？
- A7 2023 年度単独公募の次世代型では、評価側が求めるところとの齟齬が大きく結果的に採択に至る研究課題がないとの判断となりました。今回の共同公募では、趣旨や評価の観点等をご理解いただいた上で、内容の作り込みを検討いただきたいと思います。高いクオリティがある提案であることを前提として、最大 5 件採択できることを期待しています。
- Q8 3 月に開始が予定されている単独公募において、英国が対象外となる可能性はあるのでしょうか。
- A8 現時点の予定において英国は対象国となります。また、単独公募における対象分野はバイオと幅広い研究領域が対象となる一方、日英共同公募ではエンジニアリングバイオロジーと絞られている点が異なるため、テーマや相手国等を勘案した上での申請をご検討いただけますと幸いです。
- Q9 2 月公募予定の米国は 2 国間のみでしょうか。多国間の場合、英国はどうなりますでしょうか。
- A9 現在準備中であり更新情報があれば随時 ASPIRE ウェブサイトで公募するため、ご確認いただくようお願い致します。

Q10 英国との Engineering Biology に関する研究提案は、来年度以降も公募予定でしょうか。

A10 現時点で未定です。なお現在のところ、ASPIRE では来年度と再来年度に単独公募を実施予定です。

### **国際共同研究体制についてのご質問**

Q11 交流事業が軌道に乗ると当初計画で定義した英国/日本のパートナー研究者以外の研究者との連携が生まれる可能性があると思います。プログラム途中で日英のメンバーを追加すること可能でしょうか？

A11 可能です。ただし研究参加者の追加にあたって、日本側は ASPIRE 研究主幹の承認が必要となります。英国側については BBSRC にご確認ください。

Q12 参画する若手研究者の数の規模感はどの程度でしょうか。

A12 特に定めてはおりませんが、ASPIRE の趣旨に合致した上でなるべく多くの参画が期待されます。研究代表者にてどのような最終ゴールを持ち、それに見据えた人材育成計画を立てているかといった戦略等も踏まえてご検討いただければ幸いです。

### **経費の使い方についてのご質問**

Q13 英国での自律的な研究環境整備のために、設備費・消耗品費を執行することは可能でしょうか？

A13 可能です。ご所属機関の規定に沿って研究費を執行いただきますようお願い致します。

Q14 人材交流に使う費用は日本側から英国に渡航する費用と英国での滞在費、ということだが英国から日本に来る研究者の招聘にかかる費用や滞在費、研究費は英国側がもつ、ということでしょうか？

A14 基本的には JST は日本側研究者の研究活動にかかる部分を支援し、BBSRC からは英国側研究者の活動に対する支援が行われる予定です。

### **申請に関するご質問**

Q15 既に研究資金を確保できていること、という説明がありましたが、その規模について教えてください。億単位、数千万円規模の研究資金があることが前提なのか、あるいはカッティング・エッジ系などもっと小規模な資金でも良いのでしょうか。

A15 ASPIRE から配賦される研究費がなければ研究ができないとの意味合いではなく、国際ネットワーク構築や若手研究者の人材育成に十分支出することを念頭においていただいた上で、研究規模が小さいのであれば億単位、数千万円規模の研究資金を確保できていなくとも差支えはありません。

Q16 本事業の成果として、研究成果や成果物が求められますでしょうか。

A16 ASPIRE では若手研究者の人材育成や国際ネットワーク構築を目指していることから、最終的なゴール設定を研究計画にも含めていただいた上で、どの程度遂行できているかを測っていくことになると現時点では考えられます。例えば、国際共著論文や著名な国際会議での発表数や若手研究者が第一著者として上梓した論文数、また、相手側国に長期滞在した研究者がどれだけ活躍したのか、国際的な研究展開・成果といった観点からの人材育成成果等が評価されることが考えられます。以上をご理解いただいた上で、研究成果や成果物を捉えていただきたいと思います。

Q17 提案計画の作成においてマイルストーンの設定はどれくらい求められますか？

A17 申請書には研究計画と若手研究者の相手国への渡航を通じた人材育成計画も記載していただきますが、最終的に研究人材がどのように育っていくことを研究代表者が考えているかというご自身もつ大きなビジョン、及びその中に今回の研究課題をどう位置づけてプロジェクト目標を設定し、達成に向けた具体的なアクションが計画されているかが求められます。

### その他のご質問

Q18 英語での公募説明会は実施予定ですか？また、英国（BBSRC）でも公募説明会は実施されますか？

A18 英国 BBSRC でも公募説明会を開催する予定ですので、パートナーの英国側研究者による参加をご検討いただければ幸いです。